



写真右から濱崎あかりさん、清武輝教育長、大隅彩香さん

認定 ジュニア歴史博士



皆さんは歴史の宝庫と言われるほど小郡に多くの文化財があることを知っていますか。

市は「小郡ジュニア歴史博士」を募集し、小郡市の歴史や民俗を研究したジュニア歴史博士を表彰しました。皆さんも小郡の歴史を学んでみませんか。

【入賞者の皆さん(敬称略)】

大賞

濱崎あかり(大原中学校1年)

優秀賞

大隅彩香(のぞみが丘小学校6年)

佳作

山下七海(大原小学校6年)

副島果歩(大原小学校6年)

伊豫りさ(大原小学校6年)

子どもたちに郷土への愛着と誇りを持ってもらうために

問合せ先 文化財課
☎ 75・7555

市では、これまで埋蔵文化財調査センターを活動拠点に、地域の歴史の研究や普及活動に取り組んできました。平成17年には、埋蔵文化財調査センターに体験学習室と研修室などを増設し、センターに蓄積した資料を活用した体験学習・地域文化活動やボランティア活動などを行う拠点にし、更なる普及活動に取り組んでいます。

特に近年では、小学校・中学校との連携に重点を置き、平成17年には小郡の歴史や民俗などを写真やイラストを使用し、わかりやすくまとめた「ふるさと小郡のあゆみ」を作成し、市内の小学6年生に配布しています。

また、小学校6年生時には、来館またはセンターの職員が学校に訪問する方法で地域の歴史を学習できるようなさまざまな事業を行っています。

しかし、このような活動の中で、歴史に興味を持つ児童・生徒は多いものの、学習を深める機会に恵まれていないという課題がありました。

歴史に触れ、学べる場所

古代体験館おごおり (埋蔵文化財調査センター)



小郡市で発掘された土器などの見学や土器作り・勾玉作りといった普段味わえない古代体験を楽しめます。

☎75-7555 ファクス75-2777

小郡市三沢5147-3

○開館時間 午前9時～午後4時30分

○休館日 毎月第3日曜日・第3月曜日

九州歴史資料館



古代九州を統括した大宰府跡の出土品をはじめ、古文書や仏像などの展示を通じて、古代から近代に至る福岡県の歴史を紹介。文化財の修復作業の様子も見学できるほか、土日祝日には古代体験(一部有料)も開催。

☎75-9575 ファクス75-7834

小郡市三沢5208-3

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分

○休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)、12月28日～1月4日

「小郡ジュニア歴史博士」 受賞作品の一部を 次のページで紹介

※大賞・優秀賞作品は、埋蔵文化財調査センターで3月2日(日)まで閲覧できます



その課題に対し新設した「小郡ジュニア歴史博士」事業は、市内在住の小学生・中学生に小郡市の歴史や民俗について研究してもらい、応募された作品の内容を審査し、表彰するもので、子どもたちの歴史学習への意欲を高めることを目的としています。

この事業を通じ、子どもたちが小郡市の歴史や民俗について広く深く学ぶことによって、自分たちの住む地域への探究心を育て、郷土に愛着と誇りを持つてほしいと考えています。

「小郡ジュニア歴史博士」事業は毎年春から秋に作品を募集する予定です。皆さんも小郡の歴史や民俗について深く学んでみませんか。

小郡は歴史の宝庫

筑前・筑後・肥前の三国の境に位置した小郡市は文化財の宝庫といわれています。中でも今から2,000年前の弥生時代には、北部三国丘陵に数多くのムラが営まれ、数えきれないほどの土器や石器が見つかっています。一方その頃、小郡・大板井周辺にはクニが出現し、当時の権力の証である青銅製の鏡や武器が発見されました。

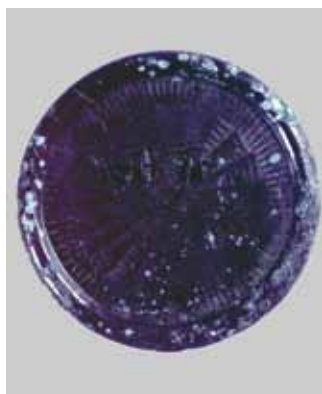
続く古墳時代になると、まず津古周辺に4基の前方後円墳が出現します。これは当時の小郡が大和王権から重要視されていたことを表します。また、

古墳時代後期の花立山古墳群は県内最大規模の群集墳です。

続く古代には、国指定史跡小郡官衙遺跡群が存在します。これらは筑後国御原郡の役所であると同時に、大宰府の南を守る重要な役割を持っていました。

1359年、日本三大合戦の一つとも言われる「大保原(大原)合戦」が起ります。これはまさに九州の天下分け目の戦いでした。

このように、小郡のあゆみは日本という国の発展と密接に関係しています。ぜひ私たちの郷土、小郡から、歴史の学習を始めてみませんか。



多鈕細文鏡
(国指定重要文化財)



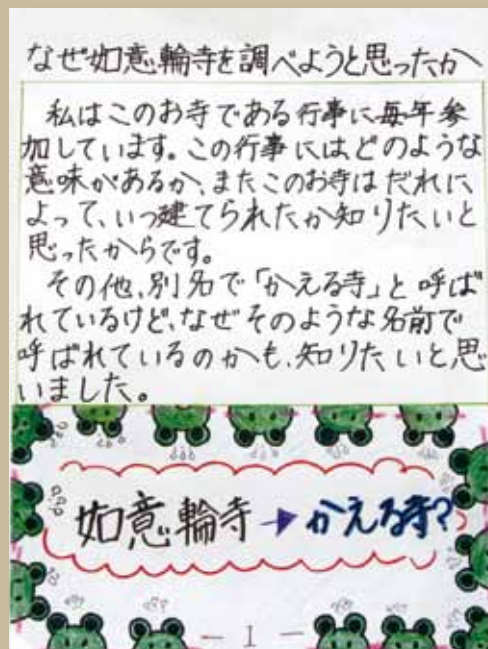
小郡官衙遺跡
(国指定史跡)

如意輪寺 ～願いが叶う花と法話と厄除けの寺～

大隈彩香さん(のぞみが丘小学校6年)

大隈さんは、毎年参加している如意輪寺の行事にどんな意味があるのか、そして、なぜ「かえる寺」と呼ばれているのか疑問に思い、寺の歴史から建築物の内容、火渡りや12年に一度の御開扉大法要などの祭りや行事を如意輪寺の住職に聞き取りをしたり、体験したりしながら調査をしています。

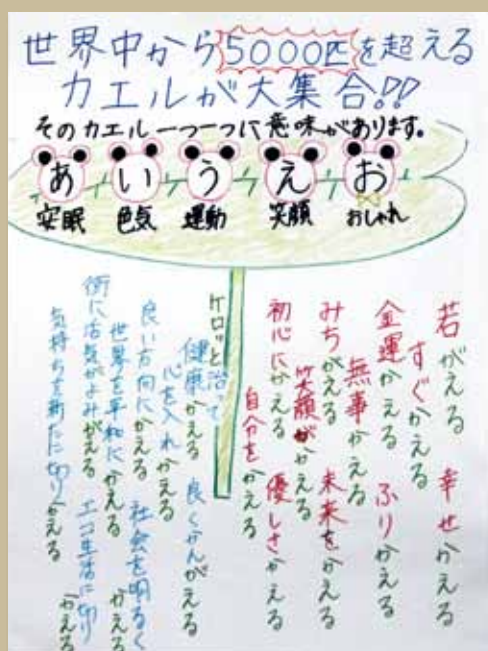
研究作品の中身は、体験や聞き取りで得た情報が研究成果にしっかり反映されています。また、作風にユーモアがあり、自分の思いを伝える手段として地図を使用するなどの工夫が感じられ、子どもが見ても楽しく分かりやすい内容になっています。



調べた目的がはっきりしています。絵も分かりやすく、文章が無くても意味が伝わるように工夫されています。



今回の目的の一つである「かえる寺」の由来を調べる前に、まず歴史的な事実をしつかりと調査



聞き取りによって得た情報を、子どもらしく丁寧に、そして非常に分かりやすくまとめています。



家族とともに祭りに参加。話を聞くだけでなく、体験談も紹介